

平成 28 年度保護林モニタリング調査評価等部会での検討結果について

1 平成 28 年度保護林モニタリング調査評価等部会の概要

- (1) 日 時 平成 29 年 2 月 8 日 (水) 10:00~12:00
- (2) 場 所 近畿中国森林管理局第 3 会議室
- (3) 議 題 ① 平成 28 年度保護林モニタリング調査結果について
 ② 平成 28 年度保護林区分の見直しに係る調査報告について
 ③ 平成 29 年度保護林モニタリング調査について

(4) 概要

事務局から議題①~③について説明し、ご意見を伺った。

2 委員からの意見の概要と意見に対する考え方

(1) 平成 28 年度保護林モニタリング調査結果について

意見の概要	意見に対する考え方
モニタリング調査は 5 年間隔でデータが残るが、その間に行われた施業履歴や林況に変化のあった事案(台風等による被害など)について周囲の林小班も含めて記録を残すべき。	保護林及び隣接する林小班の施業履歴、被害等を記録することとし、その事項等について保護林管理委員会で検討いただく。
モニタリング調査箇所内で保護対象種が枯損しており、試験研究機関の協力を得て原因を確認しておく必要がある。今後の対策のためにも重要。	森林総合研究所関西支所から、①枯損後、年月が経過しており原因究明は困難、②枯損が確認されたプロットは保護対象種が生育する立地ではなく、枯損木は保護対象種以外である可能性があるとの見解を得たところ。 今後のモニタリング調査の際に衰退木の早期発見に努める。
保護対象樹種など全面積に所在しているわけではない。現状をよく確認して含めるべきでない所、含めた方がよい所を見直す必要もある。	保護林の区域の設定は管理上、原則として谷、尾根等の地勢線によるものとされており、保護対象樹種がある所以外の区域も含まれているところ。モニタリング調査の結果等を踏まえ、必要に応じ保護林区域の見直しを検討する考え。

意見の概要	意見に対する考え方
逢坂山照葉樹林植物群落保護林のプロット調査について、調査位置の変更を検討しているが、調査の継続性を確保することが重要である。	調査の継続性を考慮し、既存のプロットでの調査も継続する予定。
ニホンジカの食害がある保護林で取扱い方針に差があるものがあり、特に被害が顕著になってきている保護林の方針はしっかり記載すべき。	モニタリング調査の結果を踏まえ、被害の状況に応じて対処方針を保護林管理方針書に明記する。
ニホンジカ対策は、環境省でも行われているので、連携して取り組んで頂きたい。	本年6月、環境省近畿地方環境事務所、上北山村及び三重森林管理署の3者で「大台ヶ原・大杉谷地域におけるニホンジカ対策連携協定」を締結。ニホンジカの捕獲等を連携して実施。

(2) 平成28年度保護林区分の見直しに係る調査報告

意見の概要	意見に対する考え方
野鹿谷シャクナゲ植物群落保護林について、保護林以外の人工林の踏査箇所の中にホンシャクナゲが確認されており遺伝的に重要である可能性があるのではないかと。	保護林及びその周辺はシカ食害が見られており、ホンシャクナゲの食害や剥皮を防止する保護ネットによる被覆を検討。ただし、多雪地で急傾斜地であるため雪の滑動の際に防護ネットが抵抗となり、ホンシャクナゲの損傷が懸念されるため、試験的に数本に被覆し、結果を観察する予定。
岩見山特定地理等保護林は石灰岩地帯であり、特殊な草本がないか更に現地を確認の上検討が必要。	現地確認の結果、石灰岩特有の植物としてイブキシモツケ、イワシデを確認したが、群落として生育しておらず点在していた。 新たな3区分の保護林のいずれの要件にも当てはまらないため廃止とするが、森林の機能類型は引き続き「自然維持タイプ」として維持管理する。

(3) 平成29年度保護林モニタリング調査について

意見なし。

保護林情報の例

保護林名 (旧保護林名) 保護対象	野鹿谷シヤクナゲ希少個体群保護林 (野鹿谷シヤクナゲ植物群落保護林) シヤクナゲ	備考 (旧学術参考林等)
設定年月日 署等	平成5年4月1日 福井森林管理署	天然記念物(自生シヤクナゲ・町指定) 保護林制度の改正に伴う区分直し調査(H28)拡充を検討(結果は拡充せず)
森林計画区 所在地	若狹 福井県大飯郡おおい町	
	標高 (m) 最高 最低	
	870 690	H23 H28
		モニタリング実施年度

保護林			プロットNo	ベルトトラ ンセクト NO	特記事項
国有林名	林班 小班	面積 機能類型			
野鹿谷	227 ち	2.18 自然維持	1, 2		プロット1(北緯35° 22' 43.1"、東経135° 32' 02.9"、標高847m) プロット2(北緯35° 22' 50.9"、東経135° 32' 08.3"、標高740m)
野鹿谷	228 ち	1.82 自然維持			

国有林名	隣接する小班 林班 小班	面積 機能類型	接する 林小班	保護林か らの方角	施業履歴等							摘要		
					H22	H23	H24	H25	H26	H27				
野鹿谷	い1	7.72 水源涵養	228ち	北										
野鹿谷	と	4.38 水源涵養	227ち、228ち	北										
野鹿谷	へ1	6.14 水源涵養	227ち	東										
野鹿谷	ほ	3.03 水源涵養	227ち	東										
野鹿谷	り	5.21 自然維持	227ち	東										
	民地		227ち、228ち	南										
野鹿谷	と	1.27 自然維持	228ち	西										
野鹿谷	に	11.20 自然維持	228ち	西										
野鹿谷	ほ	10.44 水源涵養	228ち	西									本敷調整伐	

平成29年度保護林モニタリング調査箇所一覧表

箇所数	保護林区分	保護林名	計画区	面積 (ha)
1	森林生態系保護地域	大杉谷(保存地区)	南伊勢	509.12
		大杉谷(保全利用地区)		881.63
2		大山(保存地区)	天神川	1,196.73
		大山(保全利用地区)		1,993.69
		計(2箇所)		4,581.17
3	森林生物遺伝資源保存林	黒蔵谷	紀南	515.87
		計(1箇所)		515.87
4	林木遺伝資源保存林	音水(105林班)	揖保川	48.48
5		音水(103林班)	揖保川	9.70
6		大越	紀南	193.03
7		西鴨	天神川	9.19
8		高嶺芦谷	高津川	6.69
9		恵下山谷	太田川	14.32
10		黒打山	太田川	16.73
		計(7箇所)		298.14

箇所数	保護林区分	保護林名	計画区	面積 (ha)
11	植物群落保護林	大杉谷ツガ・常緑広葉樹	南伊勢	7.10
12		音水溪谷イヌブナ	揖保川	209.35
13		氷ノ山・三の丸ブナ	揖保川	159.37
14		大塔山照葉樹林	紀南	56.76
15		大塔山モミ・ツガ・ブナ	紀南	29.57
16		亀谷ツガ・ブナ	紀南	215.81
17		三國山ブナ	天神川	298.83
18		高嶺芦谷ブナ	高津川	32.16
19		加茂山モミ・ツガ	旭川	17.63
20		竜ノ口山アラカシ	旭川	16.47
21		恵下山谷コウヤマキ	太田川	1.49
22		榎平山暖帯落葉樹	太田川	187.86
23		川平山暖帯落葉樹	太田川	36.25
		計(13箇所)		1,268.65
24	特定動物生息地保護林	北股暖地性昆虫	吉野	122.59
		計(1箇所)		122.59
		合計(24箇所)		6,786.42